

教材紹介カード

① 教科・領域 【 自立活動 】

② 児童生徒の実態【 箸の練習を始めた生徒・補助箸を使っても、箸を開いたり閉じたりすることが難しい生徒 】

③ 使用方法・作り方

作り方

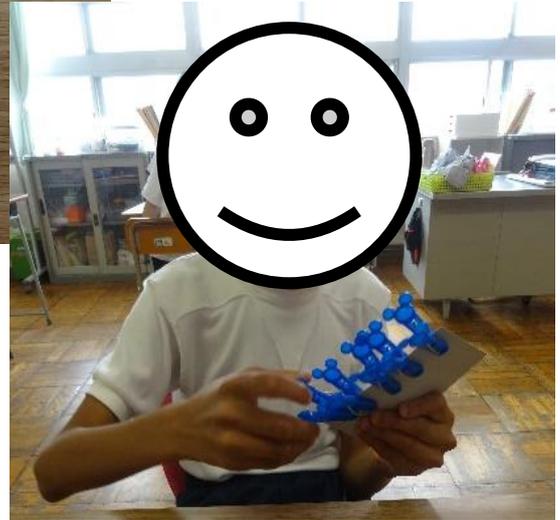
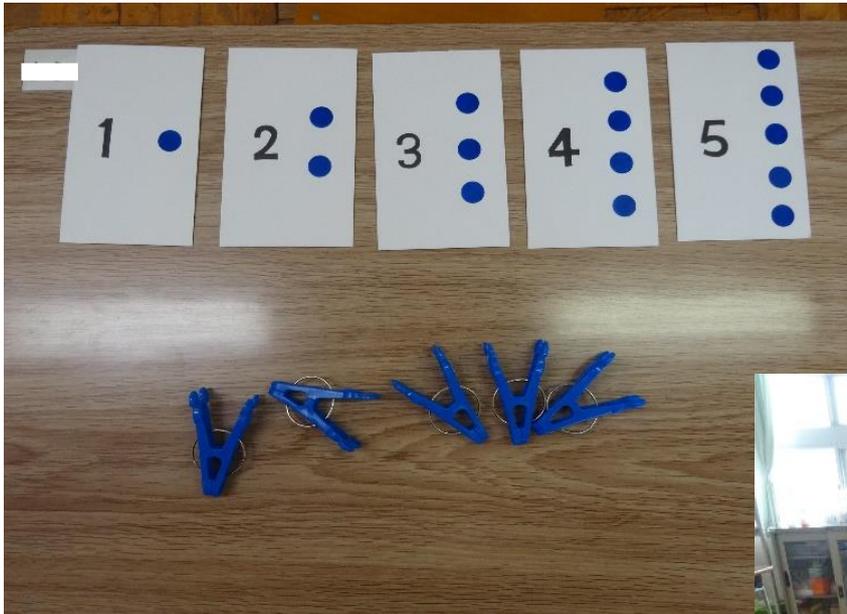
割り箸2膳に洗濯ばさみを付ける。

(ボンドやガムテープなどでしっかり)

使用方法

物を箸でつまんで、皿から別の皿へ移す練習をする。

目と手の協応や、手先の巧緻性をあげることができる。



教材紹介カード

- ① 教科・領域 【 数学 ・ 数と計算（5までの数） 】
- ② 児童生徒の実態【 1～5までの数の概念の定着を目指している。
手先に注目しながら具体物を操作する。 】

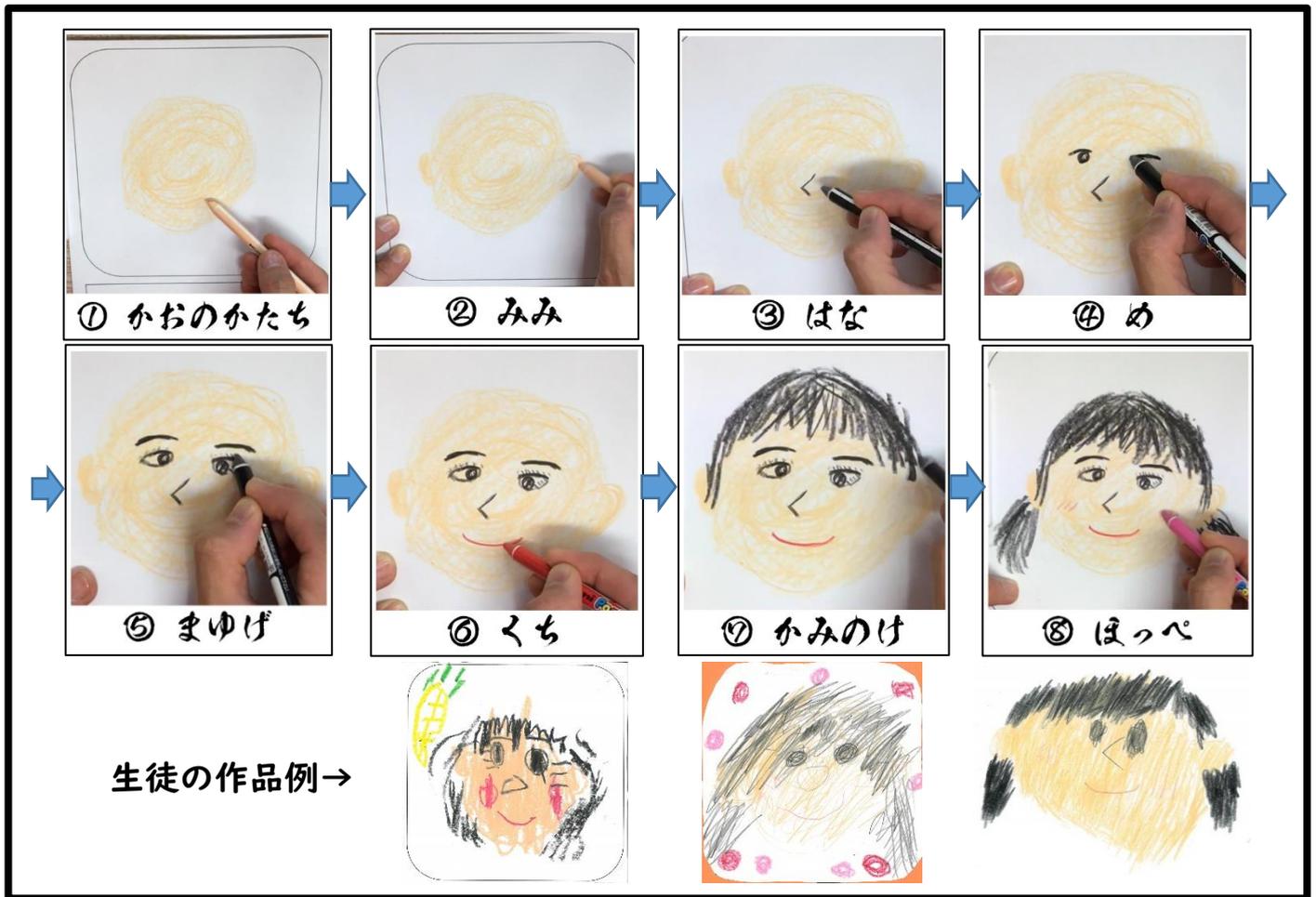
③ 使用方法・作り方

作り方

ボール紙に1～5まで数字を書き、数字の数だけ丸シールを貼る。洗濯ばさみを5つ用意する。

使用方法

- ① カードと洗濯ばさみを写真のように置く。
 - ② 「1はどれかな？」などと尋ね、正しいカードを選ぶことができるか確認する。
 - ③ 正しいカードを選んだら、一緒に数唱しながら洗濯ばさみで丸シールをはさむ。
- ※ このカードに慣れてきたら、丸シールをだんだん小さくしたり、なくしたりする。



教材紹介カード

- ① 教科・領域 【 美術 誕生日プレゼント作り 】
- ② 児童生徒の実態【 顔を描く経験が少ない生徒・顔のパーツの配置、イメージがもちにくい生徒 】
- ③ 使用方法・作り方

作り方

教師が似顔絵を描く工程を動画で撮影しておき、工程ごとにスクリーンショットを撮る。順番に番号を付け、カラー印刷してホワイトボードに並べて貼る。撮影した動画は、初回の説明のときに使用する。

使用方法

誕生日プレゼントのカード作りで使用。似顔絵を描くときには、相手の写真を画用紙の横に置き、見ながら描く。その際に、この工程表を示すことで、完成までの見通しがもちやすくなり、失敗が少なくなる。顔の中心にある鼻から描くことで、全体のバランスが取りやすくなる。



←ステップ1

ステップ2→



教材紹介カード

① 教科・領域 【 数学 いろいろなかず・かたち 】

② 児童生徒の実態

【 形の識別が難しく、手先の巧緻性も低い生徒 】

③ 使用方法・作り方

- ・指導者の「輪を木の棒に入れましょう。」の言葉に従って輪を木の棒に通す。
- ・1つ入れられたら、「2つ目を入れましょう。」などと言葉掛けを行い、自分の入れた輪が増えていく様子についても意識させる。全部入れられたら、何個棒に入れられたか、確認を行う。
- ・ステップ1で輪を入れる作業がスムーズにできるようになったら、ステップ2の小さな輪を使って同様に行う。